



埼玉県営水道マスコット
「ウォー太郎」

令和4年度 第1回埼玉県企業局経営懇話会



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

日時：令和4年7月21日（木）午後2時

場所：さいたま共済会館502会議室

令和4年度 第1回埼玉県企業局経営懇話会 次第

1 開会

2 公営企業管理者 挨拶

3 座長代理の指名

4 議事

(1) 令和3年度 公営企業会計決算概要

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の進捗状況の評価

(3) 「第5次企業局経営5か年計画」の概要

5 閉会

1 開会

2 公営企業管理者 挨拶

埼玉県公営企業管理者 北島 通次

3 座長代理の指名

4 議事

- (1) 令和3年度 公営企業会計決算概要
- (2) 「第4次企業局経営5か年計画」の進捗状況の評価
- (3) 「第5次企業局経営5か年計画」の概要

(1) 令和3年度 公営企業会計決算概要

I 工業用水道事業

令和3年度 公営企業会計決算 (工業用水道事業)

令和4年7月
企業局

業務概要

地下水採取による地盤沈下の防止と産業基盤の整備を図るため、工業用水を給水。

○給水区域

草加市、八潮市、蕨市及び戸田市の全域並びにさいたま市及び川口市の一部（工業用水法による地下水汲み上げ規制区域である県南東部地域）

○給水事業所数 148事業所（前年度 146事業所 +2）

○料金単価 22円53銭 /m³（税抜、前年度と同額）

○給水契約水量 6,651万m³

（前年度 6,653万m³ △0.03%）

○企業債残高 1億7千5百万円（前年度比 △35.2%）

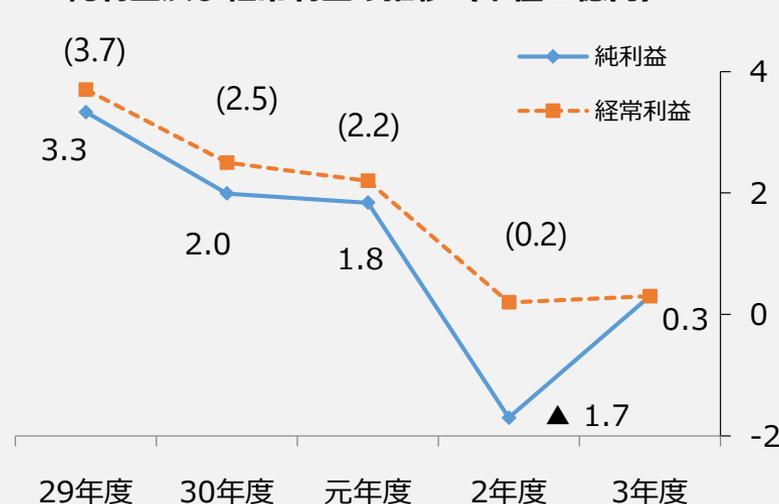
決算概要

単位：百万円

	3年度	2年度	増減額	増減率(%)
事業収益	1,892	1,791	101	5.7
（うち給水収益）	(1,553)	(1,558)	(△5)	(△0.4)
事業費用	1,858	1,962	△104	△5.3
純利益(△は純損失)	34	△171	205	—
うち経常利益	32	22	10	46.1

・ 令和3年度は、排水処理施設の解体に伴う撤去費が増加したが、委託料の減等により、経常利益は1千万円増加した。

純利益及び経常利益の推移 (単位：億円)



- ・ 給水収益の減少や、維持管理費の増加等により、経常利益、純利益は減少傾向。
- ・ 今後は事業者のニーズに沿った施設規模の適正化や料金の在り方を検討し、経営改善に努めていく。

(1) 令和3年度 公営企業会計決算概要

Ⅱ 水道用水供給事業

令和3年度 公営企業会計決算（水道用水供給事業）

業務概要

河川表流水（荒川・利根川水系）を水源として、県内5つの浄水場から水道事業者55団体（58市町）へ水道用水を供給。

○実績給水量 6億3,518万m³

（前年度 6億3,506万m³ +0.02%）

○料金単価 61円78銭 /m³（税抜、前年度と同額）

○企業債残高 1,078億9千8百万円（前年度比 △5.6%）

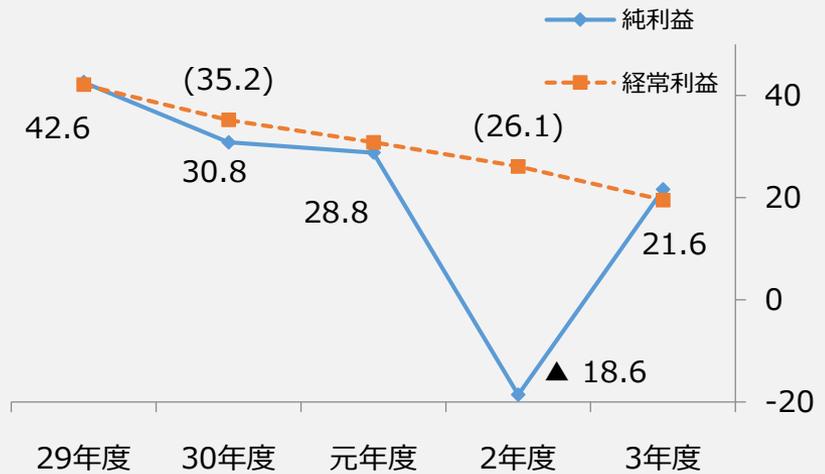
決算概要

単位：百万円

	3年度	2年度	増減額	増減率(%)
事業収益	44,413	49,879	△5,466	△11.0
（うち給水収益）	(39,241)	(39,234)	(7)	(0.02)
事業費用	42,250	51,742	△9,492	△18.3
純利益(△は純損失)	2,163	△1,863	4,026	—
うち経常利益	1,951	2,608	△657	△25.2

・ 令和3年度は、修繕費の増加や原油価格の上昇に伴う動力費の増加等により、経常利益は6億5千7百万円減少した。

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



- ・ 施設の老朽化に伴う修繕費や薬品費等の維持管理費の増加により、純利益、経常利益は減少傾向。
- ・ 安全・安心で良質な水の供給のため、高度浄水処理の導入など必要な投資を行いながら、コスト縮減にも努めていく。

(1) 令和3年度 公営企業会計決算概要

Ⅲ 地域整備事業

令和3年度 公営企業会計決算（地域整備事業）

業務概要

地域経済の活性化や雇用機会の拡大などを目的に、産業団地等を造成。

○事業実施地区（8地区）

- ①松伏・田島地区 ②川越増形地区 ③行田富士見地区
- ④嵐山花見台地区 ⑤富士見上南畑地区 ⑥鴻巣箕田地区
- ⑦寄居桜沢地区 ⑧羽生上岩瀬地区

決算概要

単位：百万円

	3年度	2年度	増減額	増減率(%)
事業収益	4,378	14,474	△10,096	△69.8
（うち分譲収益）	3,525	13,570	△10,045	△74.0
事業費用	4,273	12,876	△8,603	△66.8
純利益	105	1,598	△1,493	△93.4
うち経常利益	232	1,527	△1,295	△84.8

・ 令和3年度は、完成した産業団地がなかったため、分譲収益が減少し、純利益は14億9千3百万円減少した。

○団地別分譲収益

団地名	分譲収益	分譲区画
草加柿木	22億5千5百万円	3区画
本庄いまい台※	11億2千万円	3区画
秩父みどりが丘※	1億5千万円	1区画

※ 本庄いまい台(H9完成)及び秩父みどりが丘(H8完成)については、貸付契約していた区画の一部をR4.2月に分譲した。

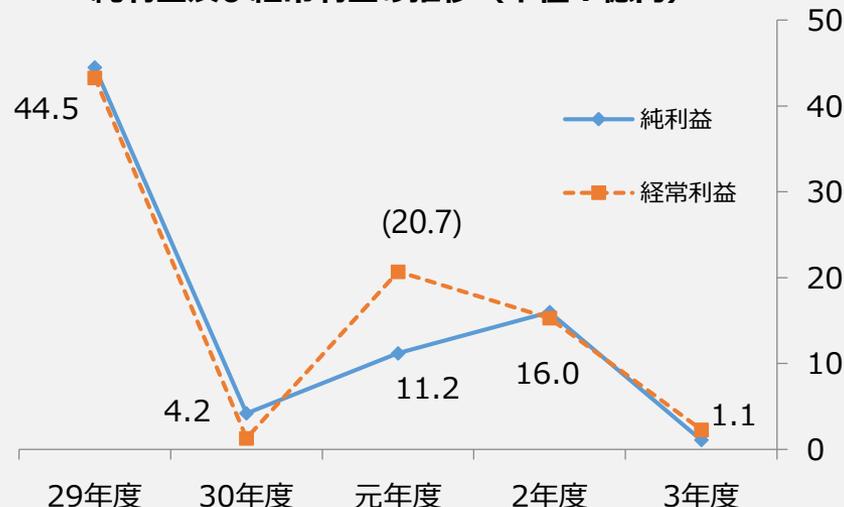
○産業団地貸付収益

4億2千5百万円
6団地22社（分譲後※20社） 48.7ha（分譲後※43.3ha）

○ゴルフ場施設貸付収益

吉見、大麻生ゴルフ場 3億3千2百万円

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の進捗状況の評価

■進捗状況管理シート（概要版）の構成

施策の方向性			H29	H30	R1	R2	R3
計画期間中の目標		年度目標指標 (単位)	目標 実績	年度目標数値			
令和3年度 進捗状況評価 ※評価指標	評価の理由						

※評価指標

A	計画期間中の目標は達成しており、 アクションプラン全体の進捗状況は良好と判断する。
B	計画期間中の目標は達成していないが、 施策全体として進捗状況はおおむね順調と判断する。
C	今後も目標達成は難しく、 計画の見直しが必要と判断する。

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の進捗状況の評価

I 工業用水道事業 進捗状況管理シート（概要版）

1 健全経営を維持するため収益を確保します。			H29	H30	R1	R2	R3
年間新規獲得の受水契約量（年間1,000m ³ /日）	累計 (m ³ /日)	目標	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000
		実績	156	351	2,546	3,194	3,884
B	目標値は達成できなかったが、既存事業所への働きかけにより前経営5か年計画期間やそれ以前に比べ、契約水量の減少率を鈍化することができたので、B評価とする。						
2 事故・災害に強い工業用水道事業を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
柿木浄水場施設の耐震化率（60%：6/10施設）	（%）	目標	0	0	30	40	60
		実績	0	0	0	10	30
B	アクションプランの進捗状況は良好だが、計画期間中の目標を達成できなかったため、B評価とする。						
3 安定給水を持続するための強固な経営基盤を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率（100%以上を維持）	（%）	目標	100	100	100	100	100
		実績	125.9	116.2	114.9	101.2	101.7
有形固定資産減価償却率※ （平成28年度（=71.4%）水準に維持）	（%）	目標	71.4	71.4	71.4	71.4	71.4
		実績	68.0	69.1	69.2	67.8	68.9
A	計画期間中の目標を達成し、アクションプランについても年度目標を達成して進捗状況は良好なため、A評価とする。						

※有形固定資産減価償却率（%）

$$= \frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$$

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の進捗状況の評価

II 水道用水供給事業 進捗状況管理シート (概要版)

1 県民生活を支える安全な水を安定的に供給します。			H29	H30	R1	R2	R3
水質基準不適合率 (水質基準不適合回数/全検査回数 = 0%)	(%)	目標	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0
安定水利権の割合 (安定水利権: 100%)	(%)	目標	70	70	70	100	100
		実績	70	70	70	100	100
A	計画期間中の目標を達成し、アクションプランについても年度目標を概ね達成し進捗状況も良好なため、A評価とする。						
2 事故・災害に強い水道を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
浄水施設の耐震化率 (耐震化率: 84%)	(%)	目標	71	80	84	84	84
		実績	72	79	85	88	92
備蓄水量の確保 (備蓄水量: 688万人分)	(万人分)	目標	685	685	688	688	688
		実績	689	685	685	685	688
安定水利権の割合 (再掲) (安定水利権: 100%)	(%)	目標	70	70	70	100	100
		実績	70	70	70	100	100
A	計画期間中の目標を達成し、アクションプランについても年度目標を概ね達成し進捗状況も良好なため、A評価とする。						
3 将来も事業を持続するための強固な経営基盤を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
経常収支比率 (100%以上を維持)	(%)	目標	100	100	100	100	100
		実績	110.5	108.7	107.5	106.2	104.6
有形固定資産減価償却率 (平成28年度 (= 55.5%) 水準に維持)	(%)	目標	55.5	55.5	55.5	55.5	55.5
		実績	56.1	57.2	59.1	60.5	61.7
B	<p>計画期間中の目標のうち、有形固定資産減価償却率については年度の経過とともに数値は上昇しているが、法定耐用年数よりも長い期間使用してから更新を行っていることや、建設中の施設等を反映できていないことによるものであり、更新自体は概ね順調に進捗している。</p> <p>一部のアクションプランで目標を達成していない項目はあるが、新型コロナウイルスの影響によるものであり、その他は目標指標に達している。</p> <p>従って、進捗状況は概ね良好なためB評価とする。</p>						

(2) 「第4次企業局経営5か年計画」の進捗状況の評価

Ⅲ 地域整備事業 進捗状況管理シート（概要版）

1 圏央道等の優れた地域資源や公的機関の経営資源を活用して産業団地整備に取り組みます。			H29	H30	R1	R2	R3
新たに整備する産業団地の面積 100ヘクタール (ha)	(ha)	目標	20	40	60	80	100
		実績	14	51	51	69	89
B	アクションプランの年度目標は達成していないが、計画期間中の目標を9割程度達成しており、B評価とする。						
2 産業振興と地域振興を推進するためのより強固な経営基盤を構築します。			H29	H30	R1	R2	R3
計画期間中の各団地の収支を黒字にします。		目標	黒字	黒字	黒字	黒字	黒字
		実績	黒字	黒字	黒字	黒字	黒字
A	計画期間中の目標を達成し、アクションプランについても年度目標を全て達成し進捗状況は良好のため、A評価とする。						

(3) 「第5次企業局経営5か年計画」の概要

1 計画策定の目的

- 経営基盤の強化や財政マネジメントの向上
- 将来にわたり県民生活に必要なサービスを安定的に提供

2 計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間

3 経営の基本方針

- 事業の選択と経営資源(人材、財源、資産など)の集中
- 地域社会への貢献や環境負荷の低減
- 持続可能な経営基盤の確立

水道用水供給事業

経営目標	安全・安心な水を供給し、人口減少社会に適応した持続可能な水道経営を目指します。	
	施策の方向性	主な取組内容
1 県民生活を支える安全な水の安定的な供給	<目標> 水質基準適合率 100%	① 高度浄水処理の導入 ② 水源の水質保全
2 災害に強い水道用水施設の構築 ～レジリエンス～	<目標> 備蓄水量の確保704万人分 渇水時における水源の確保割合 100%	① 水道施設の老朽化・災害対策⇒デジタル技術を活用した管路更新計画 ② 送水エリアの再編 策定等
3 将来も事業を持続するための強固な経営基盤の構築	<目標> 経常収支比率 100%以上 温室効果ガス排出量を20%削減	① 効率的な事業運営⇒料金改定の検討 ② 環境負荷の低減

工業用水道事業

経営目標	事業者のニーズに沿った施設の適正化や料金の在り方を検討し、経営改善に努めます。	
	施策の方向性	主な取組内容
1 社会環境の変化に対応した施設の適正化の推進	<目標> 余剰施設の廃止 温室効果ガス排出量を20%削減	① 施設・管路の見直し ② 環境負荷の低減
2 災害・危機に強い工業用水道事業の構築 ～レジリエンス～	<目標> 工業用水道施設の耐震化率85%以上 災害時対応訓練の実施 1回/年	① 施設の長寿命化 ② 工業用水道施設の災害対策
3 経営改善の推進	<目標> 令和8年度の経常収支比率 100%	① デジタル技術活用の推進⇒業務の効率化と料金改定等の検討 ② 更なる官民連携手法の検討

地域整備事業

経営目標	地域の強みを最大限に生かした産業の振興と地域の均衡ある発展を図り、より一層の県民の福祉を増進します。	
	施策の方向性	主な取組内容
1 高速道路網などの本県の優位性を生かすとともに、県施策と連動した産業団地の整備	<目標> 新たに整備した産業団地の面積 100ha	① 適切な候補地の選定⇒「あと数マイルプロジェクト」等との連携 ② 産業団地の魅力向上⇒SDGsや働き方改革等を企業選定項目に追加
2 産業振興と地域振興を推進するためのより強固な経営基盤の構築	<目標> 計画期間中の各団地の収支の黒字化	① 収益の確保に向けた検討

(3) 今後の財政シミュレーション(令和4年度～令和18年度)

【水道用水供給事業、決算ベース・料金改定なし】

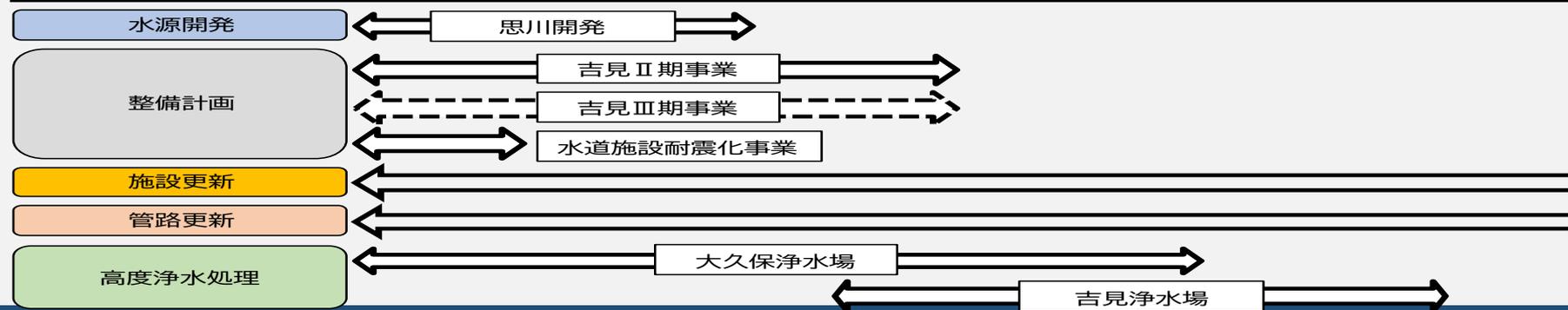
現行料金【61.78円】(単位:百万円)

		計画1年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
収益	1 営業収益(A)	39,561	38,522	38,294	38,096	37,923	37,865	37,556	37,392	37,224	37,162
	(1)給水収益	39,489	38,450	38,222	38,024	37,851	37,793	37,524	37,360	37,192	37,130
	(2)その他営業収益	72	72	72	72	72	72	32	32	32	32
	2 営業外収益(B)	4,702	4,139	3,844	3,711	3,567	3,815	3,828	4,032	4,071	4,850
	(1)受取利息	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	(2)他会計補助金	374	305	286	245	228	210	192	173	154	134
(3)長期前受金戻入	4,324	3,830	3,554	3,462	3,335	3,601	3,632	3,855	3,913	4,712	
3 収益計(C) ((A)+(B))	44,263	42,661	42,138	41,807	41,490	41,680	41,384	41,424	41,295	42,012	
費用	1 営業費用(D)	40,812	39,782	39,463	39,223	38,231	39,588	38,677	41,638	41,783	44,386
	(1)人件費	2,386	2,386	2,386	2,386	2,386	2,386	2,386	2,386	2,386	2,386
	(2)動力費	3,319	3,318	3,298	3,281	3,266	3,330	3,306	3,537	3,522	3,605
	(3)薬品費	1,429	1,423	1,433	1,580	1,595	1,952	1,964	1,611	1,624	1,560
	(4)修繕費	3,933	3,704	4,341	4,034	3,838	3,527	3,012	3,749	3,864	3,940
	(5)その他営業費用	8,243	7,537	7,377	7,441	7,435	8,321	7,813	8,008	8,043	8,264
	(6)減価償却費	21,235	21,051	20,264	20,117	19,326	19,711	19,830	21,988	21,971	24,275
	(7)資産減耗費	267	363	364	384	385	361	366	359	373	356
	2 営業外費用(E)	2,508	2,192	2,572	2,603	2,432	2,383	2,591	2,900	2,814	2,852
	(1)支払利息	2,508	2,192	2,572	2,603	2,432	2,383	2,591	2,900	2,814	2,852
(2)雑支出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 費用計(F) ((D)+(E))	43,320	41,974	42,035	41,826	40,663	41,971	41,268	44,538	44,597	47,238	
経常損益(G) ((C)-(F))	943	687	103	▲ 19	827	▲ 291	116	▲ 3,114	▲ 3,302	▲ 5,226	
特別利益(H)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特別損失(I)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
当期純損益(J) ((G)+(H)-(I))	943	687	103	▲ 19	827	▲ 291	116	▲ 3,114	▲ 3,302	▲ 5,226	

(3) 今後の財政シミュレーション(令和4年度~令和18年度) 【水道用水供給事業、決算ベース・料金改定なし】

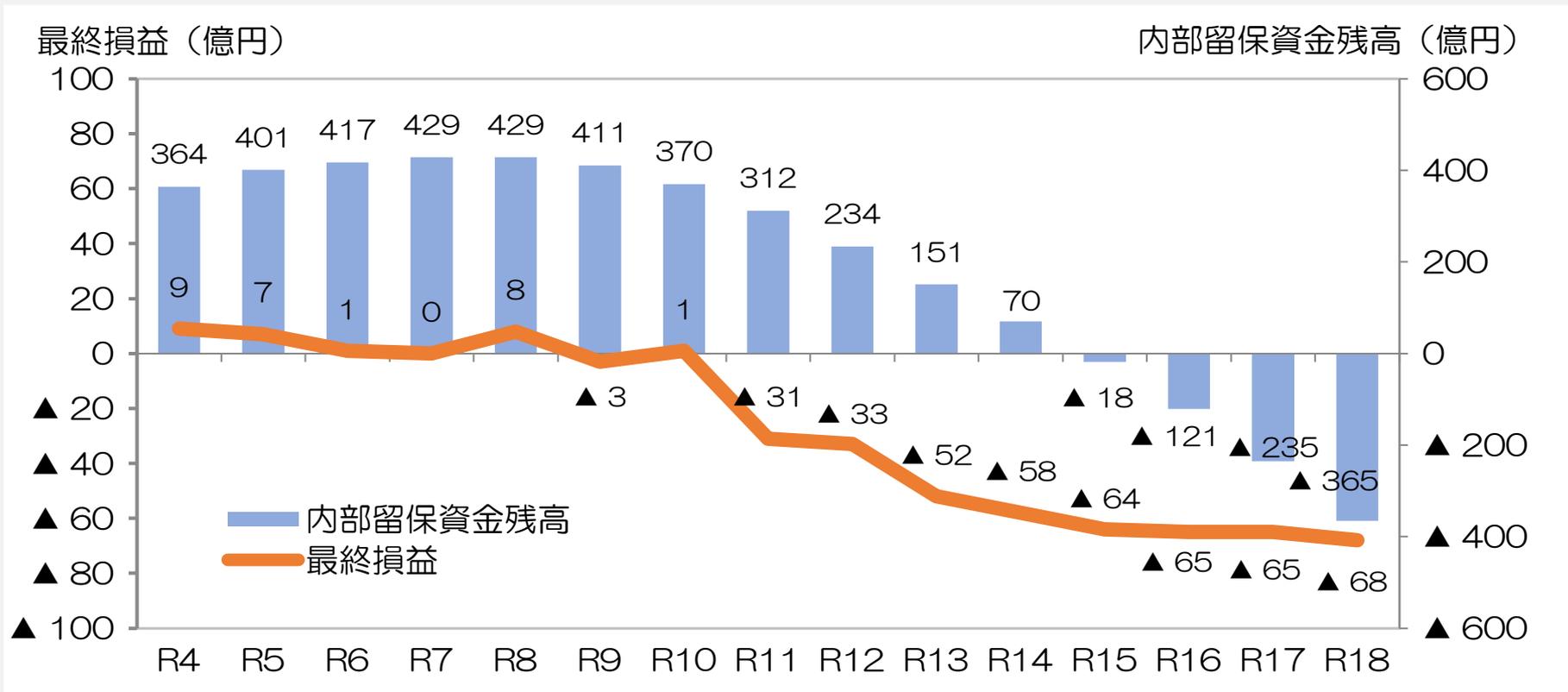
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
資本的収入	1 国庫補助金	1,410	4,773	5,539	7,679	9,379	10,890	5,795	5,181	3,722	5,047
	2 企業債	4,025	23,880	18,395	26,492	30,271	38,523	23,399	16,906	21,684	19,887
	3 出資金(県債)	2,671	9,740	5,863	10,861	13,974	14,226	10,720	7,636	4,064	4,358
	4 出資金(一財)	822	911	931	908	926	945	964	983	1,003	858
	5 他会計補助金	227	225	225	225	225	225	225	125	125	125
	6 工水借入	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収入計(A)	9,157	39,529	30,953	46,165	54,775	64,809	41,103	30,831	30,598	30,275
資本的支出	1 建設改良費	14,784	40,059	31,222	46,333	54,811	64,088	41,447	30,649	31,588	30,773
	2 企業債償還金	9,387	10,931	11,998	12,449	13,873	15,006	16,385	17,151	16,943	18,354
	3 機構負担年賦金	2,467	3,018	3,078	3,173	3,237	3,302	3,368	3,436	3,506	3,081
	4 撤退負担金	2,862	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 工水償還金	170	69	69	-	-	-	-	-	-	-
	支出計(B)	29,670	54,077	46,367	61,955	71,921	82,396	61,200	51,236	52,037	52,208
収支差不足額(C) ((A)-(B))		▲ 20,513	▲ 14,548	▲ 15,414	▲ 15,790	▲ 17,146	▲ 17,587	▲ 20,097	▲ 20,405	▲ 21,439	▲ 21,933
企業債残高		105,027	117,975	124,371	138,414	154,812	178,329	185,343	185,098	189,839	191,372
機構負担年賦金残高		38,609	35,762	32,857	39,791	36,725	33,598	30,408	27,153	23,832	20,902
PFI年賦金残高		819	660	499	335	168	-	-	-	-	-
工水借入金残高		138	69	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		144,593	154,466	157,727	178,540	191,705	211,927	215,751	212,251	213,671	212,274

内部留保資金残高	36,400	40,050	41,739	42,896	42,881	41,133	37,048	31,221	23,428	15,071
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------



(3) 今後の財政シミュレーション (令和4年度～令和18年度) 【水道用水供給事業】

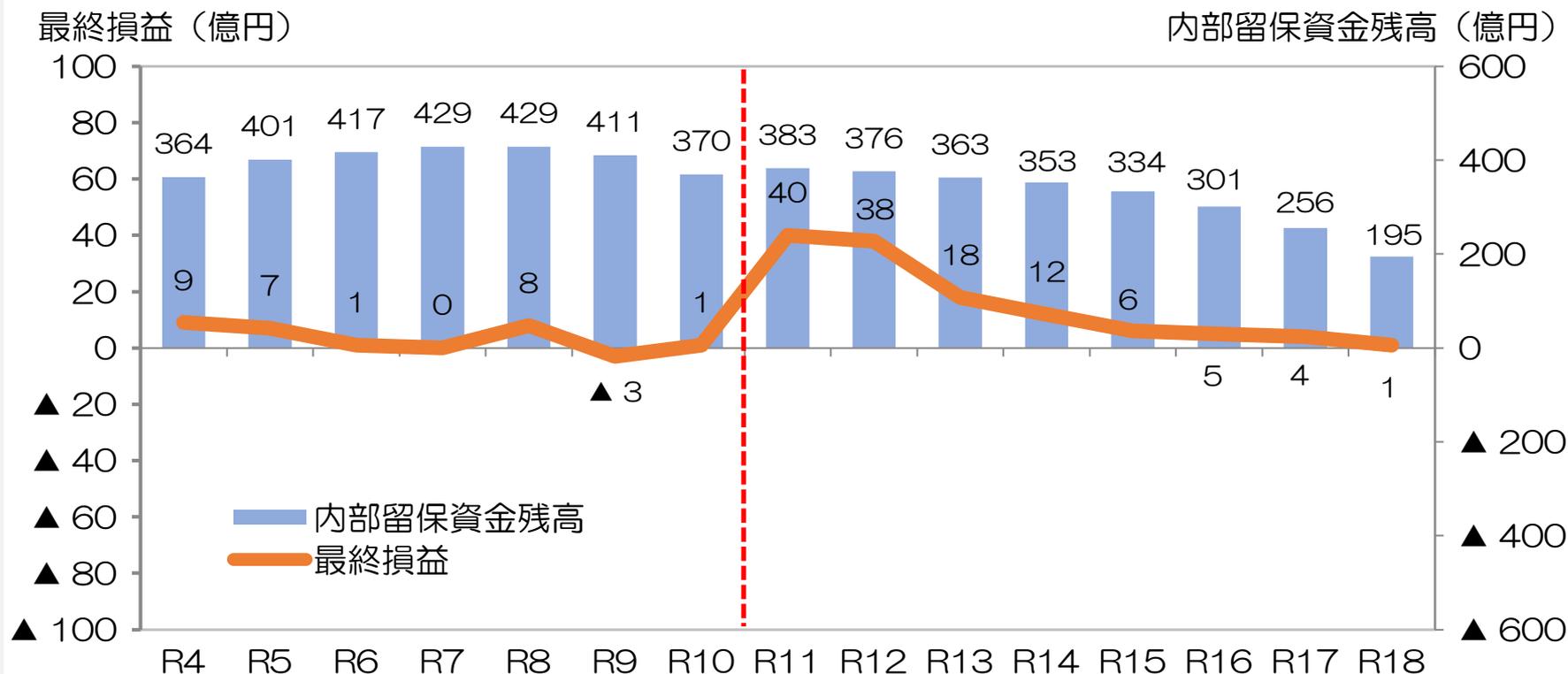
◆決算ベース・料金改定なしのイメージ



※ 現行料金単価 : 61.78円

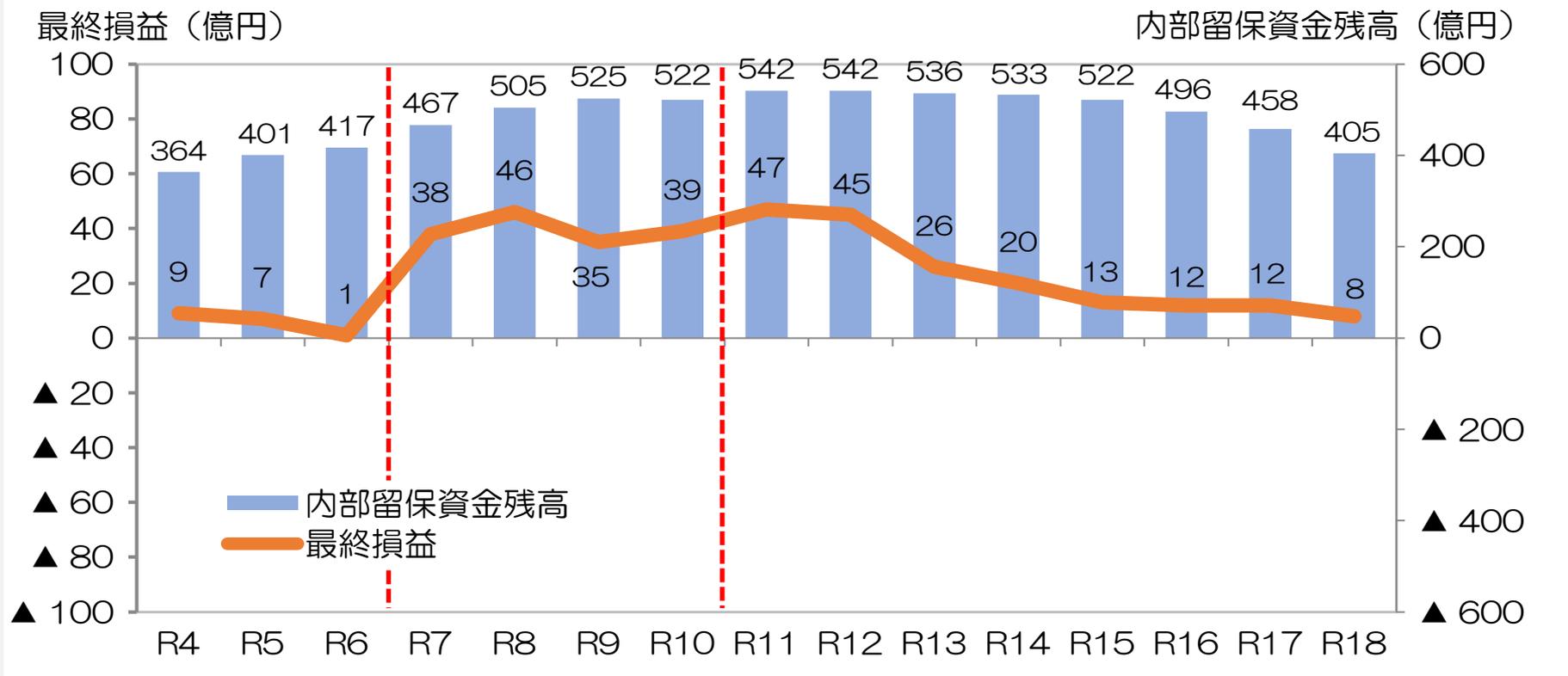
(3) 今後の財政シミュレーション (令和4年度～令和18年度) 【水道用水供給事業】

◆1段階 (20%) で料金改定 (収支均衡を図るイメージ)



(3) 今後の財政シミュレーション (令和4年度～令和18年度) 【水道用水供給事業】

◆2段階 (各10%) で料金改定 (収支均衡を図るイメージ)



(3) 今後の財政シミュレーション（令和4年度～令和18年度） 【工業用水道事業、決算ベース・料金改定なし】

現行料金【22.53円】（単位：百万円）

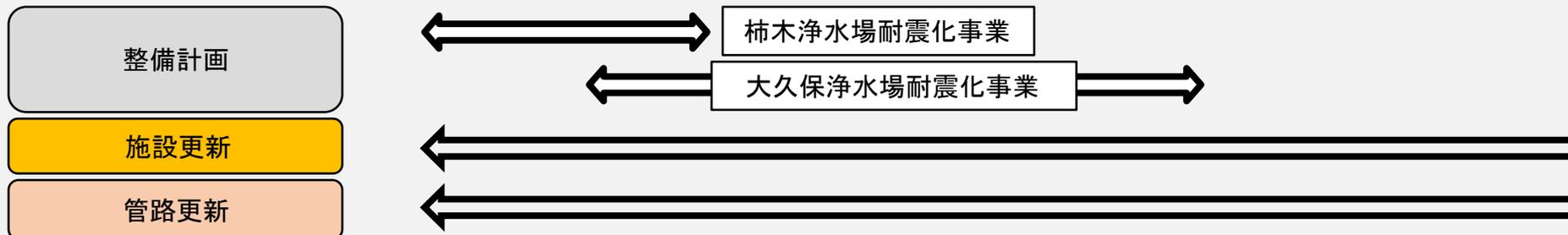
		計画1年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目	計画6年目	計画7年目	計画8年目	計画9年目	計画10年目
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
収益	1 営業収益(A)	1,565	1,551	1,539	1,531	1,523	1,515	1,506	1,499	1,491	1,483
	(1)給水収益	1,553	1,550	1,538	1,530	1,522	1,514	1,506	1,499	1,491	1,483
	(2)その他営業収益	1	1	1	1	1	1	0	0	-	-
	(3)受託工事収益	11	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	2 営業外収益(B)	127	109	107	104	105	101	99	97	95	92
	(1)受取利息	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	(2)他会計補助金	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	(3)長期前受金戻入	124	107	105	103	104	100	98	96	94	91
	3 収益計(C) ((A)+(B))	1,692	1,660	1,646	1,635	1,628	1,616	1,605	1,596	1,586	1,575
	費用	1 営業費用(D)	1,655	1,777	1,722	1,825	1,875	1,728	1,963	1,920	1,879
(1)人件費		209	209	209	209	209	209	209	209	209	209
(2)動力費		31	31	31	31	31	31	30	30	30	30
(3)薬品費		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
(4)修繕費		80	139	96	90	81	84	166	138	139	135
(5)受託工事費		11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(5)その他営業費用		604	706	693	645	639	670	683	680	673	674
(6)減価償却費		591	623	622	638	654	666	674	662	663	675
(7)資産減耗費		121	61	63	204	253	60	193	193	157	60
2 営業外費用(E)		3	2	1	1	0	0	-	-	-	-
(1)支払利息		3	2	1	1	0	0	-	-	-	-
3 費用計(F) ((D)+(E))		1,658	1,779	1,723	1,826	1,875	1,728	1,963	1,920	1,879	1,791
経常損益(G) ((C)-(F))		34	▲ 119	▲ 77	▲ 191	▲ 247	▲ 112	▲ 358	▲ 324	▲ 293	▲ 216
特別利益(H)	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	
特別損失(I)	-	-	-	28	-	42	-	-	-	-	
当期純損益(J) ((G)+(H)-(I))	34	▲ 119	▲ 77	▲ 212	▲ 247	▲ 154	▲ 358	▲ 324	▲ 293	▲ 216	

(3) 今後の財政シミュレーション (令和4年度～令和18年度) 【工業用水道事業、決算ベース・料金改定なし】

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
資本的収入	1 国庫補助金	43	13	13	-	-	-	-	-	-	-
	2 企業債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 出資金(県債)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4 出資金(一財)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 上水からの償還金等	130	69	69	0	0	-	-	-	-	-
	7 固定資産売却等	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収入計(A)	173	82	82	0	0	0	0	0	0	0
資本的支出	1 建設改良費	968	1,563	723	1,015	781	1,142	1,476	817	987	1,310
	2 企業債償還金	78	35	26	13	10	10	-	-	-	-
	3 機構負担年賦金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4 その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	支出計(B)	1,046	1,598	749	1,028	791	1,152	1,476	817	987	1,310
収支差不足額(C) ((A)-(B))	▲ 873	▲ 1,516	▲ 667	▲ 1,028	▲ 791	▲ 1,152	▲ 1,476	▲ 817	▲ 987	▲ 1,310	

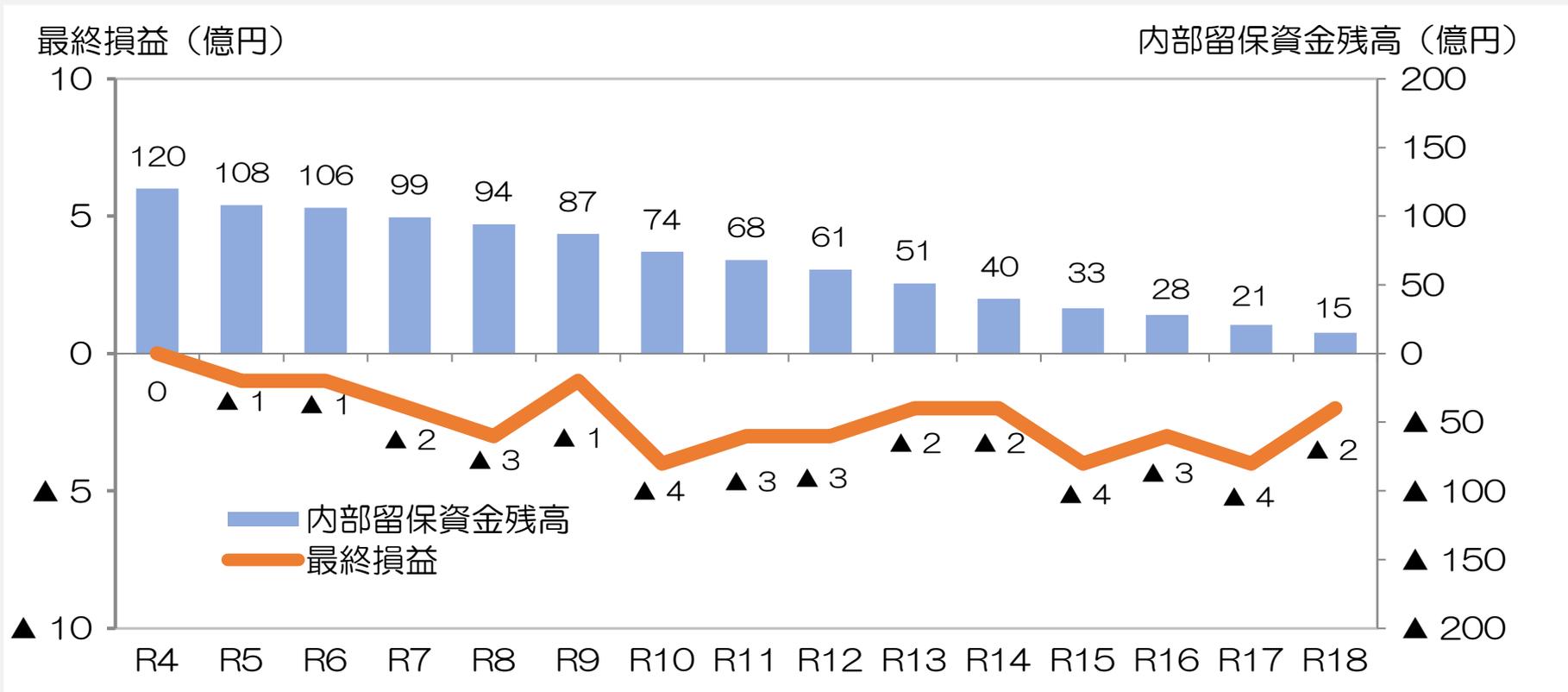
企業債残高	270	175	0	0	0	-	-	-	-	-
-------	-----	-----	---	---	---	---	---	---	---	---

内部留保資金残高	11,968	10,840	10,606	9,914	9,404	8,656	7,377	6,780	6,051	5,100
----------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



(3) 今後の財政シミュレーション (令和4年度～令和18年度) 【工業用水道事業】

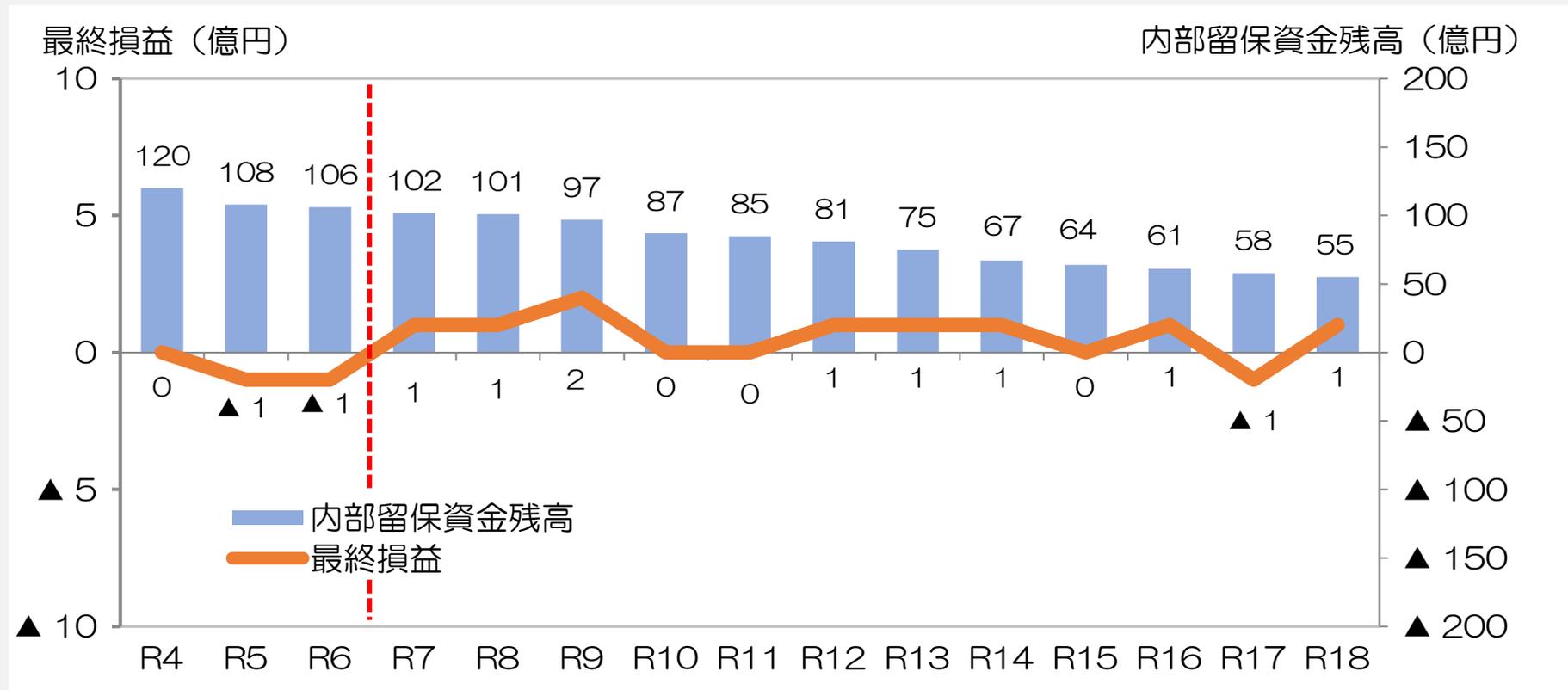
◆決算ベース・料金改定なしのイメージ



※ 現行料金単価 : 22.53円

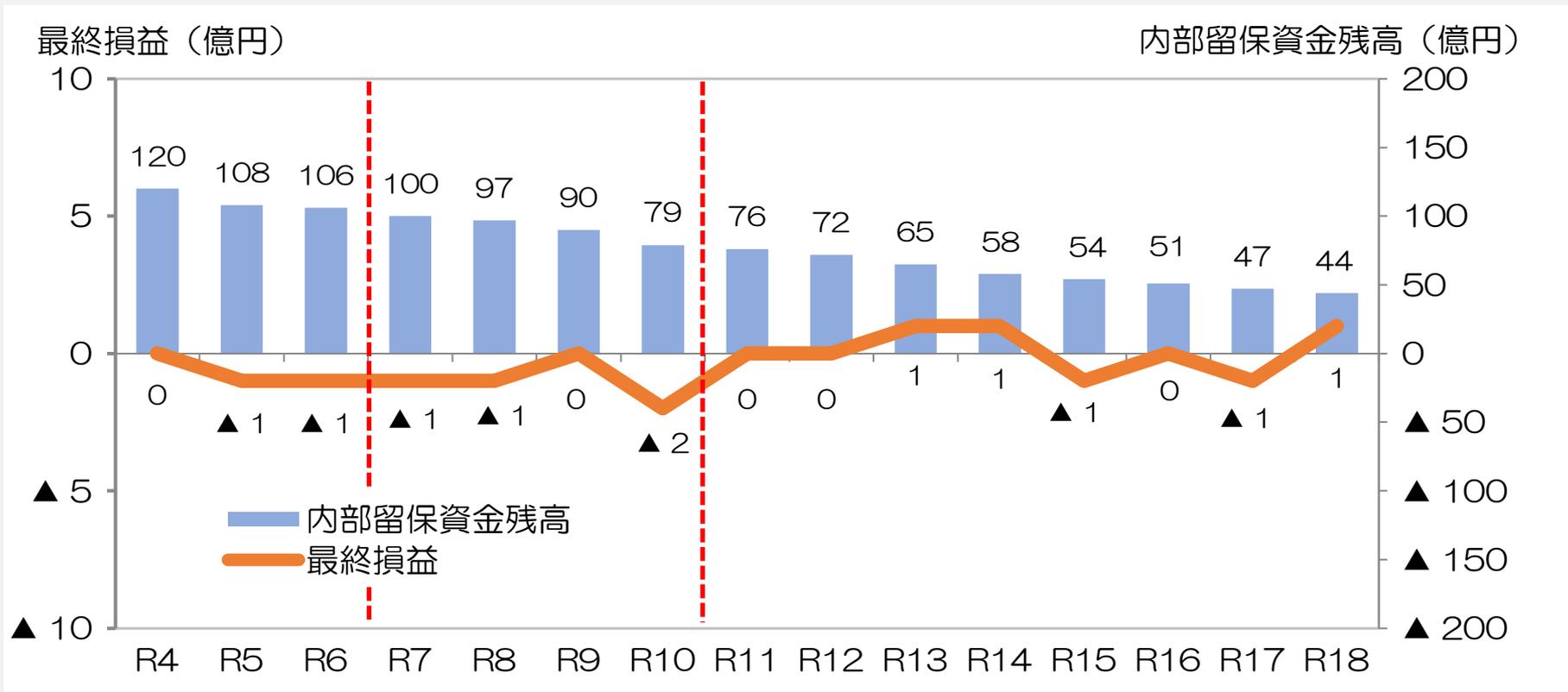
(3) 今後の財政シミュレーション (令和4年度～令和18年度) 【工業用水道事業】

◆1段階 (20%) で料金改定 (収支均衡を図るイメージ)



(3) 今後の財政シミュレーション (令和4年度～令和18年度) 【工業用水道事業】

◆2段階 (各10%) で料金改定 (収支均衡を図るイメージ)



5 閉会
